

環 境 経 営 レ ポ ー ト

[2020 年度 2020/4~2021/3]



株式会社 ユウキ工業

2021 年 7 月 1 日

1. 株式会社ユウキ工業の事業概要

(1) 事業者名及び代表者名

株式会社 ユウキ工業
代表取締役社長 北澤 芳恵

(2) 所在地

〒252-0254 神奈川県相模原市中央区下九沢 1093-1

(3) 対象範囲 : 全社 全組織

金属加工部品の製造及び販売

(4) 環境管理責任者

北沢 隆和

(5) 担当者連絡先

〒252-0254 神奈川県相模原市中央区下九沢 1093-1

連絡担当者: 北沢 隆和

T E L : 042-700-8070 F A X : 042-779-8702

E-mail : info@yuki-k.co.jp

(5) 事業概要 (2021年4月1日現在)

①主な事業: 金属加工部品の製造及び販売

②資本金: 1000万円

③従業員数: 29人

④床面積: 998.27 m²

⑤生産量

	2018年度	2019年度	2020年度
生産量(トン)	145	143	168



2. 環境経営方針

－株式会社ユウキ工業 環境経営方針－

当社は、金属加工部品の製造業者として、地球環境・地域環境に配慮し、環境保全活動を推進し、次に示す環境経営方針を定める。

1. 環境目経営標を設定し、主に以下の項目を取組むことによって、環境負荷を改善する。
 - (1) 廃スクラップ金属の削減
 - (2) 不良削減
 - (3) 可燃ゴミの削減
 - (4) 電力使用量の削減
 - (5) ガソリンの使用量削減

2. 関連する環境関連の法規制、条例及びその他の要求事項を順守する。その他の要求事項では、有害物質含有禁止に関する顧客要求に対し、管理を徹底して遵守することを重点項目とする。

3. 環境経営システムを確立し、見直しを行って、その継続的改善及び汚染の予防を行い、維持する。

4. 従業員に教育を行い、全員参加による環境保全活動を実行する。

5. 環境経営方針を含めて記述した環境経営レポートを作成し、利害関係者等からの要求に応じて配布、公表し、社内外への情報提供を行うことによって、積極的な環境コミュニケーションに取り組む。

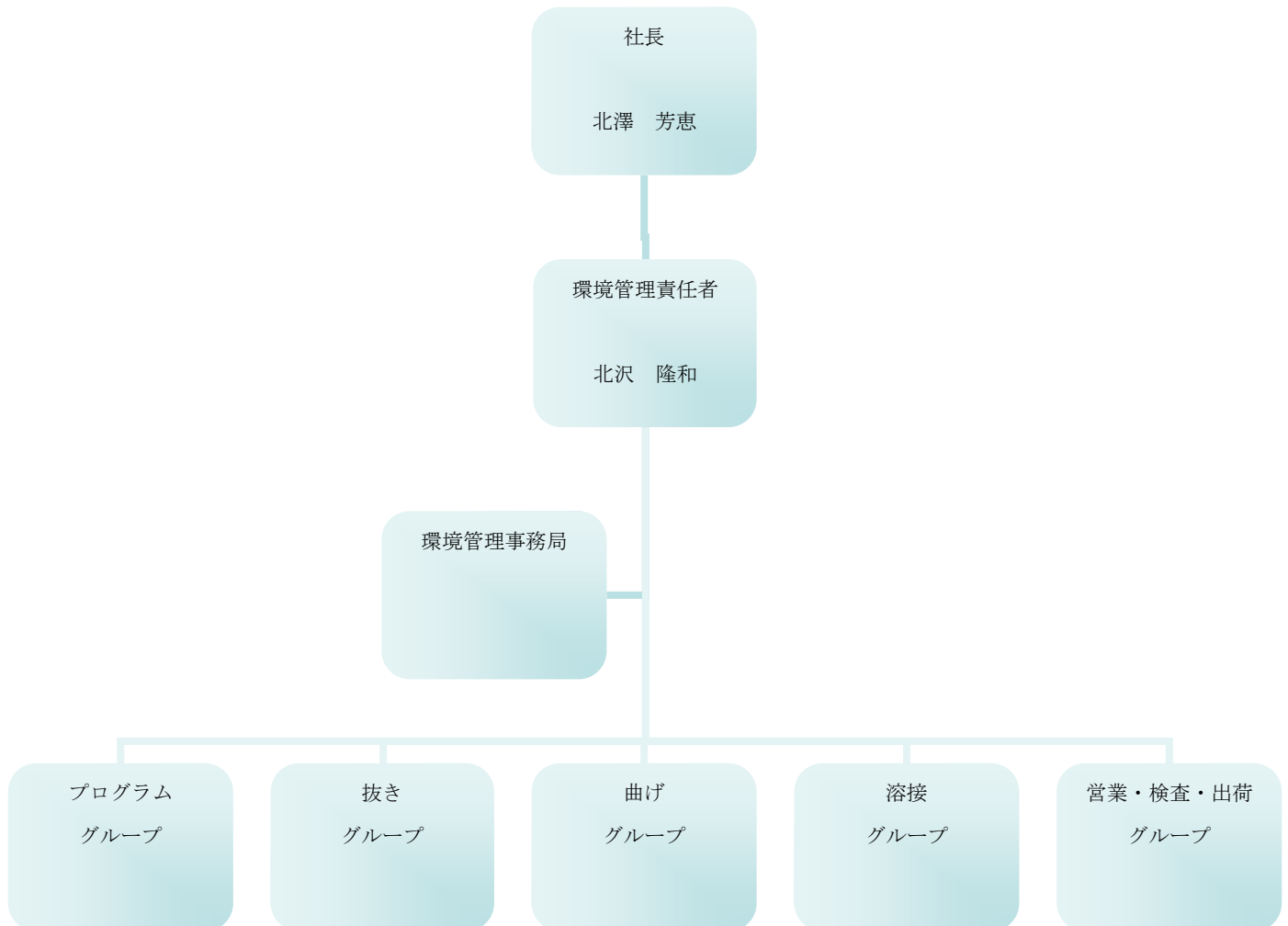
2020年1月1日改訂

株式会社 ユウキ工業
代表取締役社長 北澤 芳恵



3. 環境経営システム組織体制

株式会社ユウキ工業 環境経営システム組織図
(2021年4月1日現在)



4. 環境負荷実績

項目	2018年度	2019年度	2020年度
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	175,139	166,161	171,753
水使用量 (m ³)	420	392	405
廃棄物等排出量 (t)	57.73	53.00	60.60
総物質投入量 (t)	203	196	229

2015年度よりCO₂排出係数「0.505kg-CO₂/kwh」(2014年度 東京電力(株)実排出係数)を使用。



5、環境経営目標

株式会社ユウキ工業 2020 年度～2022 年度 環境経営目標

大項目	項目名	2020 年度	2021 年度	2022 年度
廃棄物削減	金属スクラップの削減	購入金属材料に対する金属スクラップ比率を25%以下にする (2008 年度 13.74%)	購入金属材料に対する金属スクラップ比率を24%以下にする (2008 年度 13.74%)	購入金属材料に対する金属スクラップ比率を23%以下にする (2008 年度 13.74%)
〃	不良削減	月平均の発生件数を前年度実績より 5 件減らす。	月平均の発生件数を前年度実績より 5 件減らす。	月平均の発生件数を前年度実績より 5 件減らす。
〃	可燃ごみの削減	2019 年度対比 1%削減とする	2020 年度対比 1%削減とする	2021 年度対比 1%削減とする
CO2 削減	ガソリンの使用量の削減	2019 年度対比 総量 1%削減	2020 年度対比 総量 1%削減	2021 年度対比 総量 1%削減
〃	電力使用量の削減	売上高当り 2019 年度実績に対し、1%削減	売上高当り 2020 年度実績に対し、1%削減	売上高当り 2021 年度実績に対し、1%削減
〃	CO2 総排出量削減	2019 年度比 1%削減	2020 年度比 1%削減	2021 年度比 1%削減
節水	水使用量の削減	2019 年度対比 現状維持とする	2020 年度対比 現状維持とする	2021 年度対比 現状維持とする
その他	5S 活動の推進 健康活動	5S 活動の 継続実施 ラジオ体操の継続	継続実施	継続実施
化学物質削減	洗浄液の代替品 検討	代替品の調査	代替品の調査	代替品の調査

※「化学物質削減」に関し、PRTR 法対象物質については、少量使用している。使用量削減より「代替」を目指しており、数値目標を設定していない。



6. 主要な環境経営計画の取り組み内容

株式会社ユウキ工業 2020年度 環境経営計画の主な実施項目

項目名	主な施策
金属スクラップの削減	<ul style="list-style-type: none"> ・作業標準書見直し ・作業改善を図る
不良削減	<ul style="list-style-type: none"> ・不良件数の削減
可燃ごみの削減	<ul style="list-style-type: none"> ・分別の徹底
ガソリンの使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・効率の良い運行をする
電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー・水使用がトラインの実践（エアコンの管理、照明の管理、待機電力の管理等） ・節電の管理 ・作業標準書見直し ・不良削減 ・作業改善を図る ・機械メーカーによる設備メンテナンス及び各担当者による設備メンテナンスによる生産効率向上
CO2 排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・電気量・灯油・ガソリン使用量の削減
水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー・水・紙の使用がトライン(YE-0802)の実践（台所・トイレの節水、掃除時の節水等）
社内エコ活動・健康活動	<ul style="list-style-type: none"> ・5S 活動の継続実施 ラジオ体操実施
化学物質削減	<ul style="list-style-type: none"> ・代替品の調査



7 環境経営目標及び環境経営計画の取組結果の実績と評価 及び次年度の環境経営目標及び環境経営計画

株式会社ユウキ工業 2020 年度の取組結果と評価

No.	項目名	評価	目標達成度及び 次年度目標	実施内容と分析、是正・予防処置
1	廃金属スクラップ の削減	×	目標： スクラップ率 25%以下 2020 年度実績： 26.5% 次年度目標： スクラップ率 24%以下	今年度目標値の見直しを行ったが 目標達成とはならず終了した。 要因として、機械の性能上、端材が 多く出てしまう加工を必要とする 受注が多い事や、短納期の対応の為 同じ材質や板厚の加工を同時に行う 事が出来なかった事が挙げられる。 次年度は、端材の有効な活用法を再度 検討し、目標達成となる様工夫する。
2	不良削減	○	目標:月発生件数を前年度 実績 5 件減 2020 年度実績： 月平均 27.8 件削減 次年度目標： 前年度実績 5 件減	今年度より不良目標削減を数値化し た事で、より意識が高まったように 感じられ、目標値上回る削減結果と なった。月曜全体朝礼では、前週 の不良報告を行い、関連部署以外の 者も情報を共有し、削減への意識が 向上した。次年度も更なる削減が できる様努力する。
3	可燃ごみの削減	×	目標：2019 年度排出実績 に対して 1%削減 2020 年度実績： 6%増加 2019 年度 631.3kg 2020 年度 666.3kg 次年度目標： 前年度実績 1%削減	材料のキズを防止する為の保護材が 通年を通して多く排出された事が 要因の一つと思われる。保護材の 増減は受注内容により影響される事 から思うように削減は困難である。 一方で、分別は確実にに行われていると 判断していたが、分別に困惑するゴミ もある事が判明した。 次年度は、曖昧な分別を確認し、再度 徹底をしていきたい。
4	社用車ガソリン 使用量の削減	○	目標：2019 年度比総量 1%削 減 2020 年度実績： 6%削減	遠方への納品や、近隣のお客様への訪 問が減った結果と思われる。緊急事態 宣言時は、極力納品もまとめて行って いた為、ガソリン使用量の削減となっ た。下期は定期的な納品があり、数か



			<p>2019年度: 3,599.7ℓ 2020年度: 3,377.4ℓ 次年度目標: 前年度総量実績 1%削減</p>	<p>月間前年を上回るガソリン使用量となったが、年間では大幅に削減となった。次年度も効率の良いスケジュールでの納品を心掛ける。</p>
5	電力使用量の削減	○	<p>目標: 売上高当り 2019年実績に対し、1%削減 2020年度実績: 6%削減 2019年度:0.68 kwh/千円 2020年度:0.64kwh/千円 次年度目標: 前年度実績 1%削減</p>	<p>効率良く機械を動かす事で電気使用量の削減に効果が出たのではないかとと思われる。 指標が売上高当たりの為、作業性の向上が必須となる。 作業改善や提案を行い、次年度も目標達成に向けて努力する。</p>
6	CO2 排出量の削減	×	<p>目標:2019年度比 1%削減 2020年度実績: 4%増加 2019年度:166,045 Kg-CO2 2020年度:173,219 Kg-CO2 次年度目標: 前年度実績 1%削減</p>	<p>目標 1%削減の所、4%もの増加の結果となってしまった。 効率良く機械の稼働を行っているものの、全てに電気を必要とする事から総使用量が増え、その為 CO2 排出量も増加となってしまった。 次年度は、生産性の向上を更に意識しながら、照明等の不要な電気の消灯、細かな事も意識しながら削減努力を行う。</p>
7	水使用量の削減	×	<p>目標: 2019年度対比 現状維持(総量) 2020年度実績: 3%増加 2019年度: 392 m³ 2020年度: 405 m³ 次年度目標: 前年度実績維持</p>	<p>ここ数年、生活排水に変化はないものの、今年は手洗いが頻繁に行われた事が要因で増加となったと思われる。 再び節水の呼びかけや感染対策の為変更した蛇口レバー等の利用も促し次年度の削減へと繋げたい。</p>
8	社内エコ活動 健康活動	○	<p>5 S活動の推進 健康活動の推進 次年度目標: 前年度活動継続実施</p>	<p>計画的に実施出来た。 次年度も継続して実施する。</p>
9	化学物質削減	△	<p>洗浄液の代替品を検討 次年度目標: 代替品の調査</p>	<p>調査はしているものの、同等の代替品は見つかっていない。 次年度も調査を続ける。</p>



9. 環境関連法規への違反

(1) 該当環境関連法規と違反状況, 及び訴訟等の有無

No.	法規制等の名称	評価	違反内容
1	下水道法及び 相模原市下水道条例	○	なし。
2	廃棄物処理法	○	なし。
3	相模原市廃棄物の処理及び清 掃に関する条例	○	なし。
4	騒音規制法 及び神奈川県生活環境の保全 等に関する条例	○	なし
5	振動規制法 及び神奈川県生活環境の保全 等に関する条例	○	なし
6	家電リサイクル法	○	なし
7	自動車リサイクル法	○	なし
8	消防法 及び 相模原市火災予防条例	○	なし
9	相模原市開発事業基準条例	○	なし
10	神奈川県生活環境の保全等に 関する条例	○	なし
11	高圧ガス保安法	○	なし
12	RoHS 指令	○	なし
13	グリーン調達基準	○	なし
14	フロン排出抑制法	○	なし

上記の通り環境関連法規への違法はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。又、訴訟等もありません。



10. 代表者による全体評価と見直しの結果(2021年6月10日)

(1) 環境経営方針

環境経営方針は継続する。

(2) 環境経営目標及び計画

金属スクラップ削減目標値を変更したが、未達となってしまった。受注内容に依る変化が大きい為、次年度も目標値を変更せずに、目標達成となる様活動する。業務を遂行しながらのCO2削減は困難ではあるが、目標達成となる様努力したい。

(3) 社会・取引先・法律等への対応

法規制については年間を通じて遵守できた。新たな法規制や変更点があれば情報を入手し、対応できる体制を維持する。

(4) 実施体制及びシステムのその他の要素

事務局メンバー数人の入れ替えを行った。次年度も同メンバーとし、更に活発な意見や活動を実施したい。

以上

